

関山直孝 Naotaka Sekiyama
京都大学大学院理学研究科助教

Email address: sekiyama.naotaka.5x@kyoto-u.ac.jp



【専門】 構造生物学

1982年10月14日 北海道生まれ： 札幌北高等学校卒業
2005年3月 京都大学工学部工業化学科卒業
2010年3月 京都大学大学院工学研究科修了
2010年-2011年 大阪大学蛋白質研究所 博士研究員
2011年-2015年 Harvard Medical School 博士研究員
2015年- 現職

【プロジェクト、官公庁委員、編集委員など】

科研費 研究活動スタート支援「細胞増殖に関わるTOP mRNAの翻訳制御機構の解明」

研究代表者(2015年-2016年)

科研費 若手研究B「ストレス顆粒を形成する天然変性蛋白質の自己組織化メカニズムの解明」

研究代表者(2016年-)

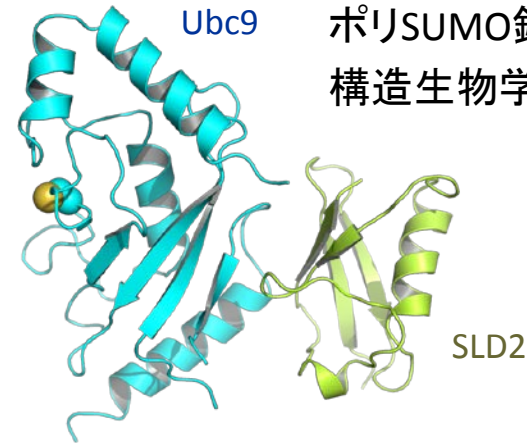
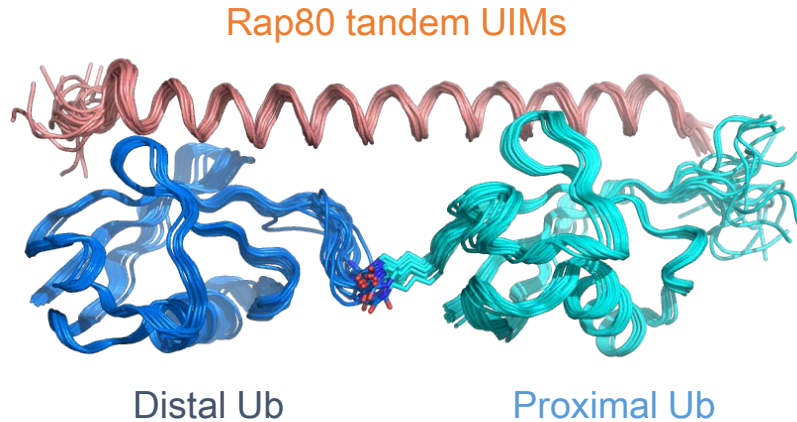
【趣味】 テニス

主な研究テーマと成果

1. ユビキチンおよびユビキチン様タンパク質の認識機構の構造学的研究

Proteins. 2010 May 1;78(6):1491-502. doi: 10.1002/prot.22667.

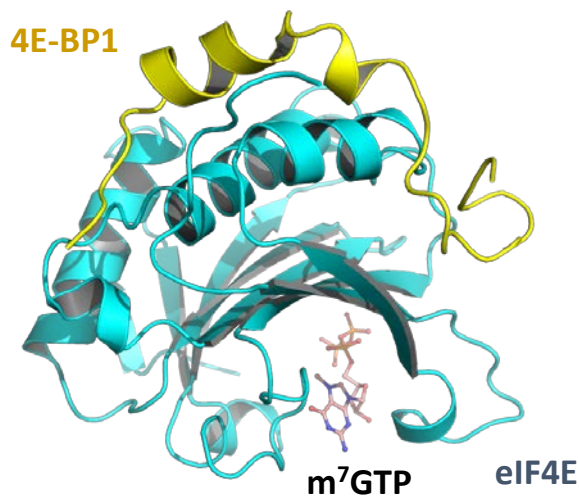
J Biomol NMR. 2012 Apr;52(4):339-50. doi: 10.1007/s10858-012-9614-9.



ポリユビキチン鎖の認識や
ポリSUMO鎖形成のメカニズムなどを
構造生物学に明らかにした。

2. 翻訳開始因子eIF4Eと4E-BP1の相互作用を介した翻訳制御機構の解明

Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Jul 28;112(30):E4036-45. doi: 10.1073/pnas.1512118112.



癌遺伝子であるeIF4Eを、4E-BP1がどのように認識し
機能を抑制しているのかを、複合体の構造から明らか
にした。